

保健と体育の関連を図る授業実践

—心と体を一体として捉えて—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（保健体育）

氏名 牧原 楓

新学習指導要領において、カリキュラム・マネジメントの充実、体育分野と保健分野の関連を図った指導の充実が示され、心と体のかかわりを実感できるようにするために、教科内の学習を関連付けた授業を試みた。

本研究では、問題を外在化し、それらと向き合うために、ルールやマナー、動きを、チームや個人で工夫していくことでストレスとの適切な付き合い方に気づかせ、対処につなげていくことを目的とした。そこで、学校第1学年男子における保健分野と体育分野を関連付けた授業実践から成果と課題を報告する。主に、子どもの様子や振り返りを基に検証を行った。すると、誰もが楽しむために思考や試行を繰り返し、子ども主体でルールやマナー、動きを創造し運動やスポーツ、自他との新たな関わり方を見出すことができた。また、子ども個人やチームそれぞれのストレス対処の仕方を見出すこともできた。今後は、他領域での実践や男女共習での実践をすることが望まれる。